

カリキュラム

機構施設名： 和歌山職業能力開発促進センター
実施機関名： 一般社団法人中部産業連盟

A. バックオフィス	システム導入	ITツールを活用した業務改善
-------------------	---------------	-----------------------

コースのねらい	業務の省力化や効率化を目指して、ITツールを活用することで業務改善を実現するために、IT ツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識を習得する。
----------------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	ITツールの種類と活用	(1) DXとITの活用 ・デジタル化／IT化の流れを日常生活から捉える ・DXとは？ ・業務と価値提供の課題を解決する (2) 生産性を上げるITツールの基礎知識 ・VR、AR、MR、IoT、AI などの技術概要 【ワーク】属人化を含め、課題を考える (3) 業務改善の基本 ・DXの3ステップと設計図をつくる ・デジタイゼーション、デジタライゼーション、DX 【ワーク】使えそうな場面を考える	3.0
	2	ITツールの業務活用	(1) 身近なITやAIの利活用と事例紹介 ・気軽に使える身近なツール紹介とデモ 例) スキャン、情報収集・共有 (2) デジタル化がうまくいかないよくある間違い ・目的があいまいなまま進めてしまう ・IT業者にお任せになっている 等 【ワーク】IT活用失敗例を考える 【ワーク】IT技術導入を進める際の課題を考える (3) プロジェクトマネジメントの基礎を理解する ・IT技術導入にも役に立つプロジェクトマネジメントとは？ ・DXの鍵となるアジャイルな考え方とは？ ・ベンダーマネジメントの概要	3.0

合計時間	6:0
------	-----

カリキュラム作成のポイント
「どこから始めればいいのかわからない」「そもそもIT化やDXって何？」「AIは使えるの？」そんな悩みを抱えている方へ、まずデジタル化の流れを丁寧に紹介した上で、AIを中心に、最新技術のトレンドや事例を交えて、分かりやすく解説します。人や資金等のリソースが少ない企業にとって、生産を上げるチャンスがあることもお伝えしていきます。自社ですぐに取り入れられる事例や現場を意識したワークを交え、また参加者にも現状や意見を共有していただきながら、学び、刺激を受け、IT技術やAI、DX導入について目指すべき方向性やどのようなことをするのかを具体化していきます。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用) 特になし	●機器・ソフトウェア(講師用・その他) ・講師用PC(Windows, PDF)は持参いたします
●使用するテキスト オリジナルテキスト	●その他

利用事業主に用意を求める機器等	備考
プロジェクタ/HDMIケーブル、スクリーン、ホワイトボード、マーカー(黒、赤、青)	